

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	キラキラと輝く背中	事務局	4-4
学校名	酒田市立第四中学校	氏名	原 麻柚奈

「将来の夢」。私はこの言葉に苦手意識がある。将来を見据えて、やりたい職に就くために、などのような言葉は総合の学習に限らず複数の教科でも登場し、仕事をする上で必要になるものがあることは確かだ。けれども私には夢がない。理想として目指す目標が何もないのだ。憧れるもの、興味のある職業はあるが、今回の「輝きタイム」でそれに関連するジャンルや研修先がなかったため、社会人としての常識やマナーについてなどのような、どの職にも関係するお話をしてくださった方のところで勉強をさせて頂いた。話は戻るが、「輝きタイム」というのは本来、この時期に各学校で行われる職業体験を、自分の生きる未来がどうなっていくか分からない社会でこれが必要とされる職業についてや、「職」ではなく「働く人」にスポットライト当ててお話を伺いにいく機会のことである。この「輝きタイム」を通して、人間として、社会人としての考え方や働き方を知りたいと思い、研修へ参加した。いろいろなお話を聞いたが、その中でも特に印象に残った言葉は「第一印象の重要性」だ。プラステージ・ヒューマンソリューションさんへ訪問へ行った際に、第一印象の占める割合についてお聞きし、55%も外見や態度が見られていることを知った。外見もある程度見られていると想像していたが、重要視されていると思った話の内容は10%にも満たないほどあまり必要とされていなかったことに驚いた。また、プラステージ・ヒューマンソリューションさんに限らず他の研修先の方も答えやすい質問形式にしたり、あいさつ等を実際に行ってみる時間を取り入れていたため、聞く側としてもすごく楽しませていただいた。

自分の将来について自信を持ち、堂々と話す姿や、大変なことにも立ち向かい、いきいきとしているみなさんが輝いて見えたのは私だけではないだろう。ただ純粋にその大きな背中を格好良いと思ったのだ。

私は特別何か得意なことがある訳ではないし、「夢」について聞か

れでも上手く答えられる自信もない。だからこそ相手に良い印象を持ってもらったり、安心して頼ってもらえるような人になりたいと思った。態度や外見にも今一度意識を入れ直し、「輝きタイム」で出会ったみなさんのようなキラキラとした大人へ、1人の人間として近付けるように、小さな一歩から確実に、前に進んでいく人になるのが今の私の理想の姿だ。